

R2年度 当院におけるメンタルケアの現状

近年、精神的不安を抱えておられる方や、投薬治療を必要とされる方が増えております。これらの方々には、妊娠、出産、育児にあたり、よりきめ細かい、継続した支援や関わりが必要です。当院では、妊娠中から産後にわたり質問表（エジンバラ産後うつ質問票：EPDS、赤ちゃんへの気持ち質問票、育児支援チェックリスト）の活用し、きめ細やかな聞き取り、受持ち制の導入、臨床心理士によるカウンセリング、地域保健師との連携を行っております。

1.妊娠初期（EPDS・育児支援チェックリスト）

388名にテストを行い、**40名(9.7%)**が基準を上回る結果でした。これらの多くは、悪阻症状によるものが多く、悪阻の軽快により不安は解消されました。悪阻以外に原因が考えられる場合には、テストを再度行い、受持ちスタッフが担当し、より多くの機会にご相談頂けるようにしております。ご希望により、臨床心理士による心理カウンセリングを実施しております。2020年、受持ちスタッフが対応した患者様は**97名(30%)**のうち心理カウンセリング療法を行った患者様は**11名(11.3%)**でした。

2.産後2週間・1ヶ月検診（EPDS、赤ちゃんへの気持ち質問票、育児支援チェックリスト）

323名にテストを行い、**産後2週間健診では30名(9%)**、**産後1ヵ月健診では14名(4.3%)**の方が基準を上回る結果でした。出産された323名の中で、地域の保健師と連携を取り**支援を必要とされた方が、35名(111%)**おられました。これからも細やかなメンタルケアを通して、皆様の安全・安心な出産、育児支援をおこなってまいります。皆様のご協力をお願い申し上げます。

